

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成23年6月23日(2011.6.23)

【公表番号】特表2010-525944(P2010-525944A)

【公表日】平成22年7月29日(2010.7.29)

【年通号数】公開・登録公報2010-030

【出願番号】特願2010-506694(P2010-506694)

【国際特許分類】

C 02 F 5/00 (2006.01)

C 02 F 1/58 (2006.01)

C 02 F 5/02 (2006.01)

B 08 B 3/08 (2006.01)

【F I】

C 02 F 5/00 6 2 0 B

C 02 F 1/58 J

C 02 F 5/02 B

B 08 B 3/08 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年5月2日(2011.5.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

水源の可溶水硬度を減少させる方法であって、前記方法は、

6～9のpHを有する水源に洗剤又はすぎ補助剤を接触させる前に、該6～9のpHを有する水源に固体転化剤を含む組成物を接触させて、該可溶水硬度を実質的に減少させる工程を含み、該転化剤は、水不溶性金属酸化物、金属水酸化物、およびそれらの組合せからなる群から選択され、かつ該転化剤は、該水源でカルシウム硬度イオンを発生して、該水源から除去されることを要しない非方解石結晶形態で実質的に沈殿し、そして該組成物は、実質的にキレート剤、増強剤、域剤、金属イオン封鎖剤またはそれらの組合せがない、方法。

【請求項2】

該転化剤は酸化マグネシウム、酸化アルミニウム、酸化チタン、およびそれらの組合せからなる群から選択される、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

該転化剤は水酸化マグネシウム、水酸化アルミニウム、水酸化チタン、およびそれらの組合せからなる群から選択される、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

該非方解石結晶形態は霰石である、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

該組成物はさらに霰石を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

該組成物は1wt%～50wt%の霰石を含む、請求項5に記載の方法。